

令和3年

小学生たたら体験学習

12月2日から3日にかけて、鳥上小学校内古代たたら体験学習工房で、町内の小学6年生の児童を中心にたたら体験学習が実施されました。この学習は、郷土を理解する上で欠かせないのでない「たたら製鉄」について、町の次世代を担う子どもたちが体験すること、参加した児童が互いに交流し、思いや考えを伝え合うことを目的とし、日刀保たたら協力を得て行われました。

初日は、粘土を用いた炉づくりのほか、土砂から砂鉄を選別する鉄穴流し体験や木炭を切る体験を行いました。2日目は、日刀保たたら村下・木原氏の指導のもと、砂鉄と木炭を交互に入れる作業やふいごで風を送る作業を交代で行いました。作業を終え炉を壊すと、真っ赤に焼けた鋳が児童の前に現れました。今回の体験では、砂鉄86kg、木炭135kgを使用し、33kgの鋳ができあがりました。参加した児童は、「ふいごは大変だったけど協力してできてよかった」「疲れたし大変だったけど達成感がある体験だった」と満足そうに話しました。



日刀保たたら村下 木原氏(前列左から5番目)と鋳出しに参加した小学生の皆さん

おへいずも逃走中!

「RUN IN OKUI ZUMO」開催

町内の小学生を対象に「おへいずも逃走中!」RUN IN OKUI ZUMOが、12月12日にみなり遊園地で開催され、220名が参加しました。

このイベントは、多くの行事が中止を余儀なくされ、寂しい思いをしている小学生を元気づけたいと、人気テレビ番組にあやかり奥出雲町商工会青年部が計画しました。ルールは、ハンター役に扮した男子ホッケー



ハンターの皆さん



ハンターから逃走する小学生

チームセルリオ島根の選手から逃げながら、与えられたミッションをクリアし、30分間、捕まらなかった人が成功者として、賞品を獲得することが出来ます。この日は、気温も暖かく、小学生の弾んだ声がみなり遊園地内に響いていました。

東京2020オリンピック ホッケー女子日本代表 錦織えみ選手 来庁

7月23日から8月8日にかけて開催された東京2020オリンピックにホッケー女子日本代表として出場した錦織えみ選手(コカ・コーラレッドスパークス所属/三成小・仁多中・横田高出身)が、12月23日に役場仁多庁舎を訪れ、勝田町長へ大会の報告をされました。

東京2020オリンピックに出場した感想を聞かせてください。

コロナ禍で厳しい中、オリンピックを開催してくれた主催者やボランティアの皆さんに感謝しています。試合では、皆さんの期待に応えられませんでした。少しでも元気を与えられていたら嬉しいです。

ホッケーをする後輩の皆さんにエールをお願いします

私自身、学生時代にいい環境で練習をさせてもらいました。応援してくれる人に感謝をしつつ、楽しくホッケーをして欲しいと思います。



錦織えみ選手(右)からホッケー女子日本代表選手の名前入りの皿をプレゼントされました

第53回全国高等学校選抜 ホッケー大会激励式

第53回全国高等学校選抜ホッケー大会に出場する横田高校男子ホッケー部の激励式が12月15日に役場仁多庁舎で行われ、選手を代表して、渡部純主将が出席されました。勝田町長から「コロナ禍で満足のいく練習ができず、苦労されたと思います。今年最後となる本大会で頂点を目指して頑張ってください。」と激励の言葉が送られました。

～大会に向けて抱負を語っていただきました～



渡部純主将

このチームの集大成となります。夏のインターハイに続き、優勝を目指して全力でプレーします。

大会は、12月23日から27日にかけて岐阜県で開催され、各地区予選を勝ち抜いた24チームが全国から出場しました。

初戦は、福井県の丹生高校と対戦しました。同校は、8月のインターハイで天候不良を受け、横田高校と共に二校優勝した高校です。

両校とも果敢に攻撃を仕掛けるも、0対0の末、SO戦へ突入しました。SO戦の結果、3対2で横田高校は惜しくも初戦敗退となりました。

地域おこし協力隊の 現場を訪ねて



今回紹介するのは、令和3年4月から横田高校魅力化推進部コーディネーターとして活動する宮川直暉(みやがわただき)隊員です。

Q 宮川隊員はどのような仕事をされていますか?

私は、高校での出来事を情報発信したり、県外からの生徒募集に関する仕事をしています。情報発信については、学校イベントや生徒の地域活動の様子などをホームページやフェイスブックの利用と広報紙「稲田が丘」を作成することにより行っています。また、県外からの生徒募集については、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで説明会を開催しています。また、県外からの個別見学にも対応しています。

Q 横田高校魅力化推進部コーディネーターとは生徒にとつてどのような存在だと思いますか?

私は、先生でも事務員でもなく、生徒を評価する立場ではありませんので、生徒にとつて気軽に話せる存在だと思います。そのため、廊下で出会うと、よく話し掛けられたり、進路の相談や面接の講師を依頼されることがあります。

Q 今後の取り組みについて教えてください。

ホームページとフェイスブックの利用や広報紙の作成は、生徒たちにとつても他学年・他部活を知るツールとなっています。今後は、地域の皆さんに、より横田高校について知っていただきたいと思い、1月から広報紙「稲田が丘」を回覧します。是非ご覧ください。



横田高校 facebook



横田高校 ホームページ